

平成20年6月(2008年) No.510

## 近江八幡左義長まつり撮影会作品コンテスト 同点決戦投票で前田氏が最優秀賞

去る3月15、16日(土、日曜)行われたOMC恒例の一泊撮影会は好天に恵まれ、迫力ある映像をたくさん撮影することができました。また事前撮影で製作場面を熱心に記録された玉井、西井の両氏、並びにそのテープを1時間にまとめて希望者に配布された関氏等のご努力のお陰をもちまして、奥行きのある立派な作品が多数コンテストに参加頂きました。作品は10本寄せられ、いずれ劣らぬ良い作品ばかりで出席者(17名)も投票に迷われたことと思います。1人3票の持点で1位と思われる作品3点、2位2点、3位1点にて投票、その結果は前田氏と合原氏がトップの18点となり、OMCルールにより再投票の末、前田作品が最優秀賞となりました。おめでとうございます。撮影会作品といえば、前田さんが常に上位入賞をされており、さすが見事な出来映えでした。コンテスト結果は次頁のとおりでした。

終了後、自由意見として今後の参考になるご意見も多数寄せられましたので次年度への企画に反映したいと思えます。

## ハードディスク方式カメラ映像を テープ方式同様に編集出来るという話です

今やテープ方式のビデオカメラは店内でも片隅に置かれている現状。私たちは編集のことを考えてテープ式カメラを愛用してきました。ところが最近カノープスから、ハードディスク方式のカメラから出力を従来からのHDV方式へ簡単に变换してパソコン入力できるという機器が売り出された由。画像も一段と綺麗とか、いずれOMCニュースでご紹介する機会があると思えます。しかしこの世界、変わり方が早いですね。

### 6月例会のお知らせ

6月例会は第4土曜28日18時より、大阪市立難波市民学習センター(JR難波駅上OCATビル4階)にて開催。皆様のご来場をお待ちしています。作品の方もよろしく。  
 会場は冷房が効いていますので着衣に気をつけて下さい。



## 撮影会作品コンテスト結果

5月24日13時より例会場にて開催

### ◆最優秀賞

前田氏：近江八幡左義長まつり

### ◆優秀賞

合原氏：左義長燃ゆ

### ◆秀作賞

玉井氏：左義長まつり考

### ◆佳作

江村氏：左義長

### ◆努力賞（順不同）

有村氏：思い出の近江八幡

井上氏：早春の近江八幡

関氏：款無常

進藤氏：左義長まつり

増池氏：左義長まつり

錦氏：近江八幡左義長まつり

出席者：有村、井上、江村、岡本、紙本、合原、進藤、関、玉井、西井、錦、華岡、前田、増池、安居、吉岡の16氏に見学者1名。

撮影会作品講評（評：安居世話役）

#### 1. 左義長（HDV）

江村一郎さん 6分30秒

近江八幡の町の紹介から始まる作品の展開はナレーションなしにかかわらず見ているものを納得させます。それは次から次に変わるカットつなぎのうまさによるのでしょうか。そしてラストの盛り上がりがよかったです。倉庫の中からシャッターが少しずつ開くに従い外界の光が入ってきてそれとオーバーラップしてまつりのハイライト場面が再現されます。うまい構成だと感心しました。

#### 2. 左義長まつり（ワイド）

増池茂さん 12分30秒

街の俯瞰を八幡城址から撮りその中に街角に行く左義長の人々の赤が点描されるすばらしい導入カットは、うまいと思いました。ところが見ているうちにBGMが合っていないと感じたところあたりからカット構成が何か引っかかってしまいました。一つ一つのカットは前から云っているようにすばらしいのですが、つながりがないと損をします。BGMと作品の「流れ」をもう少し重視されたらいい作品になると思うのですが…。

#### 3. 左義長まつり考

玉井 勺さん 15分20秒

撮影会のお世話ありがとうございました。玉井さんがナレで「だしが左義長の顔なら喧嘩はまつりの華」とおっしゃっていますが両方とも見事にお撮りになっています。特に「だし」を作る大変さがよく伝わってきます。干支であるねずみの鼻がガムで爪はするめで作られているとはびっくりです。全体構成では、玉井さんしか作れない「製作工程」を中心にまとめ、祭の部分は控えた方がよかったのではないかと司会者の弁でした。左義長製作工程は大変貴重な記録でしたから。

#### 4. 早春の近江八幡（HDV）

井上勝彦さん 7分29秒

グーグルからの街の導入は毎回感心します。グーグルの空中写真が八幡界限は鮮明でないで逆に山上からの俯瞰のカットとの切り替えにぼかしを入れるなど工夫をされていましたね。ラスト辺りの自然の風景を描きながら奥さんが作品のまとめのナレーションを云われるところよかったです。その前のまつりの盛り上がりの部分、静かなBGMではなく現場音を大きくして、次のフィナーレの静かな口調との対比を強調されたらもっとよかったのではないかと思います。

#### 5. 款無常（HDV）

関 剛さん 7分20秒

款と云う字は定款として知っていますが、一字でまごころ、親しみ、の意味があることは知りませんでした。祭りの残骸が散らばる地面を接写に近い距離から移動撮影されています。その効果音が不気味です。そしてタイトル、次にすべてを焼き尽くす焰、火をバックにだしの残骸が陰影で映し出されます。山車の乱舞する光景、そして再び地面の移動撮影、この辺りでやっと「款無常」のタイトルの意味がわかってきました。映像のつながりもすごいのですが構成がチョットむつかしすぎるので無常感がストレートに私には伝わりませんでした。一つ上の階級の映像を見ている感じというのが、実感でした。

#### 6. 思い出の近江八幡（HDV）

有村 博さん 10分

作者は32年前の昭和52年、水郷の地、近江八幡にはフィルム時代6回も通われグランプリに輝かれた「湖東の春」という作



品を作られました。また平成元年にビデオ大賞をとられた「よし刈り」の舞台も近江八幡。作者にとって思い出深いところのことです。その思い出を軸に今回の左義長を描かれています。水郷に行く船の風情もよしの生い茂る水辺の様子も20～30年前とはちっとも変わっていないようです。祭りの様子もフィルム作品と対比すると興味あるものになっています。昔の作品をハイビジョンに入れて編集するのはなかなかいいものですね。

#### 7. 左義長まつり (HDV)

進藤信男さん 14分15秒

全編ナレ入りで細かいところまでよく撮っておられます。特に夜の奉火の時、だしの燃える焰だけでなく火に照らされた若者の熱狂的な乱舞の様をうまく描かれました。ただ「宮入りの時左義長同士が組み合う喧嘩にはこんな場面がありました。」のナレにつづくカットは見ただけではチョット意味不明で戸惑いました。木槌で割ったと思う酒樽の中身は本当にお酒か単なる水か、はたまた紙のレースか、現場を知らない私には変な疑問が残りました。ナレとカットが少しずれているのも気になりました。しかしよく撮っておられると感心しました。

#### 8. 近江八幡左義長まつり (HDV)

錦 務さん 11分40秒

左義長まつりを一歩ひいた目で編集しておられる点がすごいと思います。そのせいか第3者にわかりやすいものになっています。ナレと現場音の大きさの調節や司会者の言われたように現場の警察の注意ボイスなどをどう扱うかはこれからの課題と思います。しかしラストの焰と若者の踊りまくるバックにラップのリズムを使われたセンスは感心しました。これからの発展に期待します。

#### 9. 左義長燃ゆ (HDV)

合原一夫さん 12分07秒

オーソドックスな作りなのですが12分の長さを感じさせない構成力はさすがと思いました。カット、カットは他の人とあまり変わらないのですが合原さん独特のナレとあいまってひきつけて離さない「流れ」を作っておられます。その流れはナレで引っ張っていくのではなくカットつなぎで随所に盛り上がり部分があり、まつりの経過

がスット頭に入っていきます。次の前田さんの作品と同点決勝に持ち込まれ、残念ながらグランプリにはなりませんでしたがよく出来た作品だと納得しました。

#### 10. 近江八幡左義長まつり (HDV)

前田茂夫さん 14分42秒

構成は合原さんの作品と同様オーソドックスに左義長を描いておられます。強いて違いを言えばインタビューの場面をうまく活用されているところでしょうか。インタビューを使うと全体の流れがつい止まってしまうものですが、この作品にはそういう懸念は全くありません。いつも感心しています。それから「ちょうやれ」「まっせ、まっせ」の掛け声の語源など一般的な疑問にも答えてもらっているのが納得して見せてもらいました、合原さんの作品と同様このように作ればいいと我々は頭ではわかっているのですが自分で作るとうまくいきません。やはりベテランの実力というものでしょうか。

### 5月例会レポート

昼間の左義長撮影会作品コンテストに引き続き、5月例会開始、今月の司会は合原氏、書記、安居氏、映写係、増池、河合、江村の3氏、受付兼照明係、奥、進藤の両氏の担当で進行しました。

◆出席者：有村、井上、天草、江村、岡本、奥、上総、河口、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、上田、田中、西井、西村、錦、華岡、藤原、前田、増池、宮崎、宮井、森田、安居、山本、吉岡の29氏。

上映作品 (今月の講評は安居世話役です)

#### 1. 通天閣周辺

増池 茂さん 8分

光学35倍ですか、ビクター GR-D850、すごいカメラですね。それを買われたので通天閣周辺を試験的に撮られたそうです。地上から通天閣の最上部の階を写されたカットや、展望階から天王寺公園の噴水を撮られたカットなどその威力を充分発揮していました。これを使って動物園などで見物客の表情を遠くからアップで撮ると面白そうですね。34万画素はチョットしんどいですが、顔のアップならいいのではないですか。

#### 2. 松尾祭

西井 学さん 14分



京都松尾大社の祭礼を頼まれて撮影された作品、松尾大社から神輿が桂川を渡って川勝寺までゆく神幸祭を「おいで」、21日間の後、戻られる還幸祭を「おかえり」というそうです。全工程をきっちりお撮りになっていました。この作品は例会にも何回か出されたので桂川を渡御するカットはおなじみになっています。しかし毎回編集に進歩が見られ今回はその集大成作品といえるでしょう。頼まれた作品はいろいろチェックが入り完成までに気を使うことも多かったと思います。ご苦労さんでした。

### 3. 大阪新世界周辺風景

錦 務さん 6分02秒

「個人の研究研修用テープです。」と断りを入れておられるように完成までは確かにもう少し時間がかかると思います。しかし司会者も言うておられたように自分の想いをストレートに表現されているのは好感が持てます。多分筆者と同年輩と思いますが昔の通天閣の写真を見れば戦争を連想してしまいます。後はその思いを、いかに第3者にスムーズに伝えられるかの問題です。ビデオは撮る技術と共に表現するテクニックも大事です。錦さんはどちらかといえば、自分の思いを表現する方向に向かわれ方が個性を発揮できるのではないかと勝手に思ったりしています。

### 4. だんじり

上田吉己さん 6分35秒

すごいですね。よくこんなカットをお撮りになったとびっくりしています。放送局でもここまでのカットはもっていないでしょう。地元に住んで毎年追いかけておられる賜物ですね。筆者も他のクラブの撮影会で「だんじり」を撮りに行った時、参考資料にと「映像きしわだ」のテープの提供を受けましたがその時よりこの作品の方が、また数段優秀になっています。「岸和田だんじり素材集」(勿論中村美津子の歌を抜いて著作権フリーとして)として売り出されたらベストセラーになること間違いなしです。

### 5. 百舌鳥古墳散策 (HDV)

有村 博さん 6分11秒

仁徳天皇陵、一昔前まで大仙陵とっていました。筆者もよく通いましたが最近は何も知らないで興味深く拝見しました。空中写真で全体像がつかみ周遊道路の「あと何

キロ何メートルで正面です」の道標を入れていただいたので自分で歩いているような気分になりました。それにしてもこれほど整備されたとはびっくりです。今の季節散策するには絶好の場所ですね。三脚を立てて自分撮りをする技術もなかなかのもです。カメラを全く無視するのではなく、チャット一瞥するカットなど自然でこの「間」は頂きだと思いました。

### 6. 戦国乱世の城 平成に蘇る (HDV)

吉岡貞夫さん 7分45秒

池田城跡公園というものがよく解りました。織田信長時代のお城の単なる復元ではなく書院の上に展望舎という建物を現代風に再現したという変わった建築なのです。内田さんという池田お住まいの人に解説をお願いしたのはよかったです。見ていて納得がいききました。その上若い女性を2人、公園内を歩いてもらうことで吉岡さんの解説がぐんと生きてきたように思います。どう歩いてもらうかは監督(吉岡さん)の力量ですがぴったりでした。人を使う演出はうまいものですね。

### 7. 京都宇治散策 (HDV)

進藤信男さん 7分48秒

今回はノンナレでじっくりと宇治の情緒を楽しんでもらおうとの意図で編集されたと思います。みんなもよく知っている朝霧橋から始まって平等院の満開の藤、有名な鳳凰堂、アップにして欄間から見える阿弥陀如来像、屋根の上の鳳凰、宇治に行けば必ず撮ってくるカットですからこうして見せていただくと「うんうん」とうなずきながら楽しめます。後半「源氏物語千年紀」を元に、「さわらびの道の散策」となります。ここでは古蹟「総角」(あげまき)や「夢浮橋」の像があるのです。ただ歌が字幕で出てきますと、源氏物語のマニアでない人は歌の意味を理解しようと読みますがついていけず不満が残ります。解説なしで歌をいれながら「流れ」を止めない工夫は難しいと思いました。

### 8. 天空の城、竹田城 (HDV)

紙本 勝さん 9分40秒

80才を越しておられる作者が350mの山上にある城跡によく登られたとまず驚きました。それに上っていく作者を三脚で自分撮りされているのです。三脚の回収に倍の距離を上下しなければなりません。で



もそのカットですごい臨場感が出ています。どうして天空の城 竹田城が出来、見付櫓の巨大な石組みが400年の年月を経て残っているのか、解りやすいナレで解説されています。有村さんの作品と同様、見ている人が自分も登っている気分になります。俯瞰カットと解り易い地図がそれを助けます。この作風は作者が長年の経験と感によって得られたすばらしいものだとつくづく感心しました。

## 9. ドバイの一日 (HDV)

華岡 汪さん 9分57秒

ながく沈黙を守っておられた華岡さんがいきなり持ってこられたのがハイビジョンです。しかも題材が最近NHKの特集番組でセンセーショナルに取り上げたアラブ首長国連邦のドバイですから驚きが倍増します。石油はほとんど出ないのにインフラを整え豪華マンションを建てたら世界の資本が集まってきてGDPの伸びがすごいとか、砂漠の土地はタダみたいなものですが、海を埋め立てたクリークサイドパークの繁栄した街のカットを見るとドバイ繁栄の秘密がいよいよ解らなくなります。これからベテラン華岡さんの作品がそのわけ等を明らかにしていただけるかもしれません。期待します。

## 10. 西オーストラリアの旅 (バース編)

(HDV) 井上勝彦さん 9分51秒

OMCの会員はすごいですね。海外旅行といっても前作のドバイ、そして井上さんの「世界で一番美しい都市」バースです。バースが西オーストラリアの州都である事も「白人の最後のフロンティア」であることも知りませんでした。奥さんのナレに「子供連れの子供をよよく見かける」とありましたがイギリスや東欧の金持ちの人々が子供の教育上移り住んでいるようですね。美しい街で気候や治安がいいとなれば人気は上昇しますが物価が高いとなれば金持ちしか住めないじゃないかと突っ込みたくなりますが、だから治安はよいのだということですか…。井上さんは町のレストランにも入って中の様子を何気なく自作のスタビライザーで撮っておられますが此れは凡人には出来ないワザです。グーグルの地図のうまい使い方と相まって作品が見易くなるのに貢献しているなと思いました。

## 11. 送り火(改作) (HDV)

前田茂夫さん 9分58秒

京都、夏の夜の一大スペクタクル「大文字・五山送り火」。すごいです。何年もかけてよくとられたものだと驚嘆しました。銀閣寺門前で護摩木に持病や願いを書く人の描写から始まります。山に登る人、護摩木を山の送り火の地点まで運んでいるのかと思ったら横を護摩木を満載したケーブルが通過していきました。山腹にはコンクリートの土台がありました。近くにたくさんのポリ容器、燃やすためのガソリンかと思ったら消火用の水がそうです。日が暮れると積み上げられた護摩木に点火、紅蓮の焰が夜を焦がします。その合間に左大文字の字がはるか彼方にちらちら見えます。新聞の写真やTVでよくみる市内から映像と違って5~6m先でその送り火を前田さんは撮っておられるのです。その実感がひしひしと伝わるすばらしい作品でした。

## 12. 晩秋 余部 (HDV)

江村一郎さん 6分20秒

江村さんといえば、「よさこい」と「余部」と云うのが最近OMCの会員の意識です。それほど多くの映像を見せていただきました。「よさこい」が「動」とすれば余部は「静」です。今回は晩秋の余部の情緒をふんだんに表現されています。道のすずきや逆光で陰影になった農家の人、そしてはるか彼方に鉄橋をわたる列車、一転して街角で「学校ごっこ」をしている子供達、その服装が晩秋をあらわしていました。そして一瞬、工事の大型重機が写ります。鉄橋を中心の余部の風景も、もう少しで終わりだと云う印象を受けました。最後まで「余部」を前田さんと一緒に撮ってください。

## 13. 初夏の岡寺 (HDV)

奥 宏さん 6分36秒

筆者が岡寺に参ったのは12年前のことでした。当時のビデオと比べますとお参りしている人々の服装がすっかり変わったと感じました。あの時はまだまだ巡礼姿の人々をみかけました。かわらないのは暴れ者の龍を閉じ込めたという龍蓋池の縄張りの石と、にごった池の水、奥さんが行かれたのは5月、石楠花の季節ですね。岡寺ときれいな花はやはり似合います。そして寺内を散策している人々を丁寧に撮影されています。落ち着いた作品に仕上がっていました。三脚禁止は撮影者にとっては堪(こた)



えますね。

#### 14. 桜に想う (HDV)

西村光雄さん 3分40秒

自衛隊の駐屯地の桜を題材に選ばれました。そこは西村さん家の前との事、どう料理されるのかと思っていたら自分の想いを本居宣長や良寛や西行法師の歌を使ってうまく表現されていました。「金網越しの桜もやはり桜は桜、美しい」を本居宣長の「敷島の…」でうまくあらわされ、良寛の皮肉な歌「残る桜も散る桜」を戦時中曲解して「後につづけ！」に利用された悲しい記憶があったこと。訓練している自衛隊員の姿を見ながらそうならないように西行法師の「花よりは命おぞなお惜しむべき…」で結んでおられるところ、さすがだと想いました。

#### 15. 今様猫事情 (HDV)

安居利次さん 7分45秒

9匹の捨て猫を飼っている息子の家へ行ってその実態を見てきました。猫が夜の集会にも参加せず部屋から一步も出ないで暮らしていること自体信じられませんでした。環境に順応する現実を見て人間と同じだと思いました。人間の社会との対比で食・住が満たされると自由が欲しくなります。はたして自由の追求は猫にとって幸せなのか、お釈迦様の手のひらで動いているように思われてなりません。現在の家猫の事情も人間の都合の産物に過ぎないとおもうのですが…。

#### 16. 夜の八戸三社祭 (HDV)

河合源七郎さん 8分54秒

先月河合さんは津軽地方の五所川原立ねぶたを公開されました。23mにも達する巨大なねぶたに驚きましたが今回は同じ青森県の太平洋岸の八戸の三社祭りです。こちらは280年の歴史と伝統を誇る祭りです。国の重要無形民族文化財に指定されているとか。山車の内部からの照明が利いているのでハイビジョン撮影にはもってこいの題材です。3つの神社の神輿行列は神話・伝説・歌舞伎を題材にした絢爛豪華な山車の連続で見ていて圧倒されました。何を基準に「日本一の山車祭り」というのか解りませんが河合さんの映像で見る限りそんな気がします。

#### 17. メルビ (HDV)

山本正夢さん 8分10秒

メルヴはカスピ海の東、トルクメニスタンという国にある中央アジア最大の遺跡だそうです。世界遺産に指定されていますが、筆者は初めて聞く名前です。山本さんの字幕によれば紀元前6世紀ごろから栄えたオアシスの町で仏教ついでイスラムの100万人都市となったがチンギスハーンに逆らったためモンゴル騎馬軍により一夜にして全滅させられた。そして二度と街は蘇ることなく砂漠の中に城壁のみ残す遺跡となったとか。そこを訪れた色彩豊かな服装のイスラムの女の人を写真に収めた山本さんのカットは砂漠の夕日をバックに映る陰影の遺跡のカットと共に印象的でした。ドバイ、パースとメルヴ、地球儀をぐるぐる回しながら位置を確かめるだけでもボケかかかっている頭には大変ですが、逆にボケ防止にはいいかもしれません。

#### 18. 春雪の金閣寺散策 (HDV)

天草 稔さん 5分7秒

他のクラブに出品された作品を作りなおされたものです。その時は、解説がスーパーで流れていました。字が小さく読みづらいという指摘があり、今回ナレにして持ってこられたのです。前回より約2分みじかくされたこともあって見やすく非常によくまりました。前はよく解らなかつた茶室夕佳亭の内部の様子も南天の床柱、萩の違棚とカメラの動きにナレが合っているのですっきりしました。指摘をうけて納得の上で素直に改善された前向きな姿勢に感心します。

#### 19. 狭山池公園、桜の季節に (HDV)

宮崎紀代子さん 8分6秒

狭山池博物館には何回か行きましたが池の周囲がこんなに整備されているとは知りませんでした。池の堤でもある周遊道路に数百本の桜の木があり今年も植えられたとの事、来年はぜひ行ってみたいと宮崎さんの作品を見て思いました。狭山池の昔の写真、よく探してこられましたね。それから狭山池祭りを毎年撮られているとの事、今年の祭りにつづいて過去の祭り(4:3の映像)を抵抗なくいれるのに両端の足りない部分は狭山池湖面の波、いい発想です。ラストの「しめ」にもなにげなく得意の俳句、パーツ、パーツの質的向上とその無理のない組み合わせが宮崎さんの作品を急速によくした秘密でしょうか。